

## もりおかが誇る 手仕事のおみやげ

### ト 盛岡正食普及会・旧井弥商店

オーガニックとかマクロビなんて言葉のなかった時代から、ずっとそんな「正しい」食品を扱っている。その一つ、硬〜いロシアンビスケットは、噛みしめるほどにジンワリ風味が広がる「正しい」お菓子です。



住所：岩手県盛岡市上ノ橋町1-48 TEL:019-652-3751  
営業時間：9:00~18:00 定休日：日曜日・祝日

### チ 長澤屋

昔から、売ってるものは3種類のみ！特に「黄精餅」は、滋養強壮に効くウツサから出場で、盛岡に来るおじさん達の知る人ぞ知る、お土産NO.1。



住所：岩手県盛岡市神明町2-9 TEL:019-622-5887  
営業時間：9:30~18:30 定休日：日曜日

### リ 草紫堂

古代、紫は一般の人には身につけられない「禁色」。特に南部ムラサキは、日本一の品質を誇っている、庶民憧れの色でした。流行に左右されない紫や茜の着物は、母から娘へ受け継ぐ方も多く、布の宝珠のよう。



住所：岩手県盛岡市紺屋町2-15 TEL:019-622-6668  
営業時間：9:00~17:30 定休日：日曜日・毎月1日

### ヌ ごぎ九・森九商店

「車のシートを掃除するのに、掃除機より小箒がいいですよ」と気さくに笑う若い七代目と話していると、江戸時代に店を構えた九兵衛さんのお人柄がしのばれる。竹で編んだ小さな行李はおにぎり用にいかが？



住所：岩手県盛岡市紺屋町1-31 TEL:019-622-7129  
営業時間：8:30~17:30 定休日：日曜日

### ル 釜定

じっくり選べる南部鉄の鉄瓶もお鍋も使いやすさとデザインの美しさに、研ぎ澄まされた職人の技を感じます。だからこそ、鉄のペンダントは邪鬼から私を守ってくれそう。



住所：岩手県盛岡市紺屋町2-5 TEL:019-622-3911  
営業時間：9:00~17:30 定休日：日曜日

### ヲ 梅月堂

しょうゆ団子も胡桃だれのお茶餅も甘くないので、盛岡ではお昼ご飯や手みやげに一人でのっこり買っていく人が多い(のっこり=たくさん)。午後遅くに行くと、なくなっちゃってるかも。



住所：岩手県盛岡市本町通1-9-40 TEL:019-622-5042  
営業時間：10:00~18:00 定休日：日曜日

## 盛岡のまち並みの歴史

盛岡城を中心に、中津川も利用して、同心円的に三重の濠(曲輪・くわ)で囲み、外側に下級武士、取り囲む山地裾に神社仏閣。建物は、木造で火災には極めて弱く、明治維新の3年前の河北の大火、明治17年の河南の大火では多くの建物が焼失したそうです。

そんな時代、内丸では、明治36年に県庁が木造ながらも大規模なゴシック様式に建て替えられ、明治43年には市役所が現在地に移転新築され、本格的な近代化の時代を迎えるわけです。

河南地区では、大火での焼け跡から肴町が商店街として勃興し、中ノ橋界隈は新しく銀行街となり中心市街地となったそうです。

また、市街地裏の田んぼが開発され、松尾、志家、加賀野が誕生しました。河北では北上川古河跡に大通、その南側に菜園が生まれ、現在の中心市街地へ発展したわけです。



藩制期

大正期

## 盛岡の街並みを作るもの「盛岡町家」

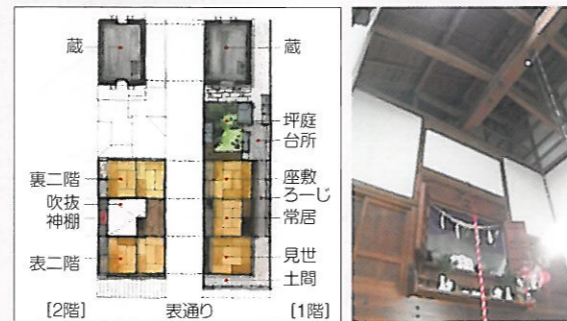
町家とは、まちなかの住宅密集地で長い間にできあがった都市型の住宅形式です。間口が狭く奥行きが長い「ウナギの寝床」型と呼ばれていますが、これはできるだけ多くの民家を道路に面して配置する工夫です。間口に応じて税金がかけられたので、住む方としてもできるだけ狭く長くということだったのでしょね。

盛岡町家の特徴は、道路に面した見世(みせ)に続く中の間、常居(じょうい)に顕著です。このあたりでは親しみをこめて「おじょうい」と呼んでいました。

家の中心の部屋であり、天井もない(つまり屋根裏の木組みが見える)吹き抜けにして、やや高い位置に神棚を作ります。神棚の上に部屋がないということは神様の上を人が歩くことはないわけです。

「主人を足下にしない」とか「出世を妨げない」などの意味を含めて、基本的にこの常居には二階をのせなかったのだそうです。

旧奥州街道沿いには、少しずつ改築しつつ今も大事に住んでいらっしゃる町家を見つけることができます。



昭和前期の町家

常居(神棚)

### 【発行】

編集 もりおか歴史的建築物まち並み探訪ガイドブック編集委員会  
学校法人 上野教育学園 上野法律ビジネス専門学校

発行 岩手県公会堂  
(指定管理者 特定非営利活動法人 いわてNPOフォーラム21)  
住所：〒020-0023 岩手県盛岡市内丸11-2  
TEL: 019-623-4681

印刷所 永代印刷株式会社

## もりおか歴史的建築物まち並み探訪ガイドマップ

# もりおか HISTORIO

～内丸・本町通・紺屋町・肴町界隈編～



もりおかは南部の殿様の城下町

中津川をはさんで、それぞれの地形を生かしながら

河北、河南と呼ばれる町が形成されてきました。

大きな樹が何年も前から私たちを見守ってきたように

私たちもHistorio(エスペラント語で歴史)を探しながら

旧奥州街道を中心に街を歩いてみませんか

## もりおか 大樹クイズ

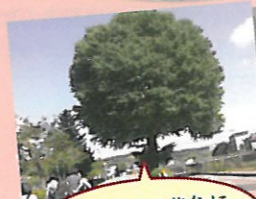
この大樹がすくすくと  
居るのはどうしてでしょう？



1 銀座の柳の三世



2 賢治が愛したギンドロ



3 秋には黄色に姿を変えます



4 二つの樹が絡まって...

## 昔からずっとそこに在る 居心地の良い空間

### イ 一茶寮

「蔵ってこんなふうになっているんだ」って思いつつ2階にあがると、ずっと前からここを知っていた気がしてくる。窓際の本で作った椅子にすっぽりと包まれると、推理小説の謎だっけ解けそう。



住所：岩手県盛岡市上ノ橋町1-48彩園子2F TEL:019-653-4646  
営業時間：10:00~19:00 定休日：日曜日

### ロ 喫茶 MAMA

盛岡で一番古い喫茶店。学生時代をここで過ごした方々が、大人になって「ただいま」って帰ってきたり、初めてなのに懐かしい、と思える心のDNAに訴える盛岡の喫茶店といったらココしかない。



住所：岩手県盛岡市本町通1-8-10 TEL:019-622-5576  
営業時間：11:00~21:00 定休日：日曜日

### ハ 喫茶 carta

なんだかここが疲れたなと感じると、古い蔵をカフェに作りかえたこのお店に、ふと行きたくてしまう。それは建物と一緒にある、スープをあたためる暖かな音や近くで淹れてくれるコーヒーの香り。ほっとしていると、きっと誰かに手紙を書きたくなります。



住所：岩手県盛岡市内丸16-16 TEL:019-651-5375  
営業時間：11:00~20:00/日火 8:00~20:00 定休日：水曜日・月最終火曜日

### ニ 喫茶 ふかくさ

緑の季節に訪れると、薫にすっかり覆われて、そこだけ絵本の中に入っていくようなドアがあります。木枠の窓から外を眺めていると、風が吹いて川面を流れていく時間が見えるんですよ。



住所：岩手県盛岡市紺屋町1-2 TEL:019-622-2353  
営業時間：11:30~15:00/17:00~23:00/日 12:00~17:00 定休日：不定休

### ホ ティーハウス リーベ

昭和40年代の喫茶店全盛期のノスタルジックでクラシカルな空間が、今でも変わらずにあります。リーベはドイツ語で「愛」。落ち着いた一人で考え事をしたい時も、映画を観たあとにお腹を満たしたい時も、もりおか人はココに来ます。



住所：岩手県盛岡市内丸5-3 TEL:019-651-1627  
営業時間：月~金 7:30~23:00/土 9:00~23:00/日 11:00~23:00 定休日：不定休

### ヘ クラムボン

たとえ目をとじて歩いていても、珈琲を焙煎する深い香りでこの店だとわかる。雪の降る日に、ここで熱いチャイを飲んであったまっていると、春までずっとここに居たくなってしまいます。

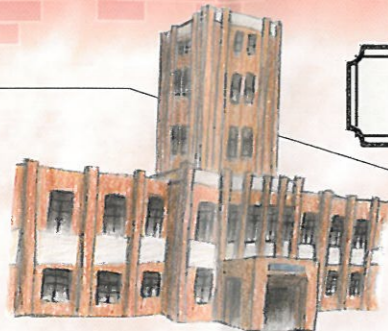


住所：岩手県盛岡市紺屋町5-33 TEL:019-651-7207  
営業時間：10:00~20:00 定休日：日曜日

# もりおか歴史的建築物まち並み探訪ガイドマップ

## ▶ 岩手県公会堂

皇太子だった昭和天皇のご成婚記念として昭和2年に建てられ、宿泊施設としての役目もありました。今も当時の貴賓室や大食堂時代のアールデコ家具が残り、使用中でなければ見学可能。そう！国の登録有形文化財なのに誰でも借りられる現役の公共施設なのです。特に21号室は、創建当時の内装に改修され、モダンな雰囲気の中で音楽会なども…。



## ◀ 内丸教会 (浸礼教会)

ここに家族で赴任したアメリカ人のタッピング牧師は、盛岡の多くの学生に英語や生き方を教示なさった。教会裏の牧師館からはコーヒーの香りやピアノの音が届き、異国情緒に感性が磨かれるきっかけになったといひます。聖書の勉強に来ていた賢治が弾いていたリードオルガンも現役で祭壇わきに。



## ▲ 佐藤写真館

佐藤写真館は昭和3年、ライト写真館は昭和4年に建てられた木造洋館。どちらも当時、撮影には必要不可欠だった北窓からの自然光を取り込む天窓があるのが特徴です。この天窓は、七五三卒業式も結婚式もたくさん家族の笑顔の思い出を知っているはず。



## ▲ ライト写真館



## ▶ 岩手医科大学

宮沢賢治の初恋の記憶を秘めた石碑が玄関脇にあります。賢治が盛岡中学校を卒業した直後、大正3年の4月初めから5月中旬までここで入院生活を送ったとき一人の看護婦さんに生涯一度の恋心を抱きました。かなわぬ恋でしたが、今も残る正面玄関のらせん階段を登るとそんなドキドキが想像できます。



## 石積み護岸

ところどころに残っている曲がった小路は水路跡で、そこにある石積み護岸は暴れ川だった赤川の護岸です。

## 三田横丁

事業家三田義正の屋敷地から名が付き、明治・大正期の趣を持つ緑豊かな跡地が残っています。



## ◀ 旧石井県令私邸

藁が全館を多い、秋には白い洋館が真っ赤に染まります。暖炉や地階、屋根裏部屋を加えると4階建。プライダル雑誌や映画のロケにも使われる盛岡で最も古い煉瓦造の美しい洋館は、全国的に見ても初期のもの。ギャラリーとして貸出しもされています。

## 牛越場 (うしこえば)

荷を運ぶ牛は重量的に上の橋を渡らせてもらえなかったため、河原に誘導するための石畳の坂道が上の橋上流に残っています。牛になったつもりで歩いてみましょう。



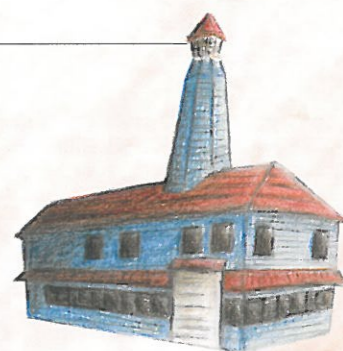
## ◀ 盛岡正食普及会・旧井弥商店

特徴的な黒漆喰は、照りをだすために職人が手で塗って仕上げたそう。幕末から大正期にかけての豪商村井弥兵衛の母屋店舗部分で、県産の粉や雑穀類のお店として営業しています。盛岡藩ではめずらしい江戸町家のタイプですが、オールドハウィのゼネラルストアとも同じ空気が流れている。



## 旧紺屋町消防番屋

盛岡は火の見櫓の多い町でした。それも町家の上に望楼を載せる堂々としたもので、ひときわ目を引きま。寒い土地柄と幾度にもわたる大火に見舞われたこともあり、消防団員が番屋に住み込み、望楼への螺旋状のはしごを登り、その六面の窓から一日三交代で盛岡の町を見張っていました。

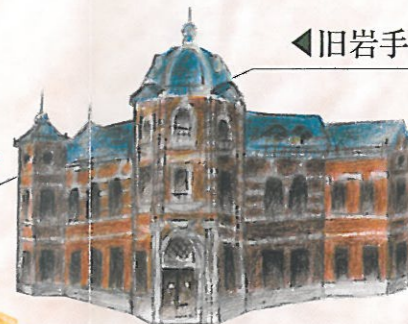


## 札の辻

辻とは、二つの道が交差する地点(十字路、四つ角)のこと。札の辻は、役所が立て札を立てた辻のこと。高札場(こうさつば)ともいいました。幕府や領主が決めた法度(はつど)や掟書(おきてがき)などを木の板札に書き、人目につくように高く掲げておく場所のことです。

## ◀ 旧岩手銀行本店 (旧盛岡銀行本店)

明治44年建築。平成24年8月まで現役の銀行として営業。赤いレンガに白い花崗岩のラインがモダンですが、昭和11年に盛岡銀行から建物を買い取ったときは、赤字イメージを払拭しようと外観をモルタルで白く塗ったのです。近くで見るとそのときのなごりが…。



## ▶ もりおか啄木・賢治青春館：旧第九十銀行本店

コーナー石の荒々しさの威厳、屋根のタコ坊主のような丸い装飾の不思議なバランスが、中世的な優しさを醸し出している建物。盛岡出身、横濱勉設計の銀行を、営業室から金庫室まで啄木と賢治が青春時代を過ごした盛岡という観点から資料展示しています。



## だんご石

街の中心地、中の橋のちよつと下流に、モッコと飛び出した岩があり、夏になると近所の子供たちの絶好の遊び場になります。「だんご石」のまわりは少しだけ深くなっていて、ここだけ潜ったり泳いだりできるので、この石の上に乗ることができると「偉い!」のです。実はものすごく大きな石で、頭の部分だけが川底から上に出ているのだとか。

## 旧奥州街道 (おうしゅうかいどう)

江戸から宇都宮～白河～福島～仙台～平泉～盛岡～青森～津軽半島の三厩へと至る日本最長の街道のこと。盛岡はこの旧街道の道筋が、ほぼ残っており、街道沿いにあった大店(おおだな)と呼ばれる漆屋造りの町家や蔵、脇街道や裏筋には八百屋や魚屋といった、庶民的な木造の町家を見つけることができます。

## もりおか大樹クイズ (答え)

- 1 岩手日報社前のヤナギ**  
明治時代「銀座の並木」として親しまれた柳ですが、石川啄木が当時銀座にあって朝日新聞社に勤務していたご縁で盛岡市に贈られたものです。市内には啄木・賢治青春館前と啄木新婚の家の前にもあります。
- 2 喫茶ふかくさの前のギンドロ**  
薫がからまる喫茶店の前にあります。ウラジロハコヤナギが正式な名前。裏側が銀色をしているこの樹の葉は、中津川を透き通った風が渡るキラキラと光るのです。
- 3 上の橋際のイチヨウ**  
明治時代初期、この場所には丸竹茶屋(現丸竹餅店)がありました。都市緑地化計画、県民会館の建設に伴い丸竹茶屋も移転することになりましたが100年以上の年輪のあるこの銀杏は残すことになったのだそうです。
- 4 長岡家の蔵の前のシンジュとキツタ**  
盛岡正食普及会の前に立つと、屋根の上から空に手を伸ばすように伸びる不思議な樹が見えます。シンジュは漢字で書くと神樹。この樹がモコモコの緑の木薫(キツタ)をまとっているのです。

喫茶店	盛岡の大樹	おみやげ
歴史的建築物	町家・商店	チェック!